

中央家保便り

令和7年7月発行
 沖縄県農林水産部
 中央家畜保健衛生所
 南城市大里字大里2085
 TEL (098) 945-2297
 FAX (098) 945-3467



今年の夏は“暖かい空気に覆われやすく気温は高くなりそう”です

暑熱環境下で作業を行うときは

- ①長時間作業を避けましょう
- ②こまめな水分&塩分の補給、休憩

※のどが渇いていなくても、**定期的に水分&塩分補給**を！

疲れていなくても、**定期的に休憩**を取りましょう！！

1人で作業する場合は特に「**定期的に**」を意識しましょう

命の危険



家畜

- ①飼育密度の緩和、換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧を行い、
家畜の体感温度の低下を！
- ②寒冷紗やよしずによる日除け、屋根裏・壁・床への断熱材の設置、屋根への
消石灰の塗布等により、畜舎環境の改善を！
- ③良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミンやミネラルの追給及び清浄で
冷たい水の給与を！
- ④観察の頻度を増加させ、健康悪化の兆候がないか等、家畜の健康状態を把握し、
快適性に配慮した飼養管理を！



草地

今後高温が予想されていることから、作業時期が早まる可能性があるので、牧草の生育状況を踏まえた適期刈取りを意識しましょう

県有種雄牛 推定育種価



BMS		名号	枝肉重量	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
順位	前回順位							
4	1	令鵬	A	A	A	A	A	H
6	8	照百合守	C	A	C	A	A	H
8	6	美百合	A	A	A	B	A	H
19	12	福増白鵬	C	A	C	C	A	H
25	★	幸紀照重	C	A	B	B	A	H
50	27	美津忠平	B	A	B	A	A	H
51	50	百合安清	A	A	B	A	A	H
61	16	白鶴桜	A	A	B	C	B	H
78	53	福茂北	B	A	B	C	B	A
84	72	茂北福	A	A	A	A	A	A
101	96	福福波	B	B	A	C	B	A
106	101	百合北	A	A	B	B	C	A
122	★	茂福輝	B	B	B	B	B	A
131	120	北百合平	A	A	A	C	B	A

母牛の推定育種価は【その母牛の所有者にのみ】配布可能です。ご希望の方は中央家畜保健衛生所(098-945-2297)振興担当までご連絡ください。

県有牛 枝肉成績 (枝肉データベース) まとめ

R4.4～R6.9枝肉データベースより集計

種雄牛		頭数	BMS	コース	バラ	皮下	歩留	枝重
美百合	去勢	332	8.7	69.0	8.0	2.3	75.3	506.0
	雌	202	8.5	69.4	7.9	2.6	75.7	455.8
百合安清	去勢	28	7.3	66.3	7.1	2.2	74.9	469.6
	雌	21	8.6	71.4	7.8	2.4	75.6	496.0
照百合守	去勢	18	9.2	62.8	7.5	2.3	74.6	475.0
	雌	15	9.5	65.3	7.7	2.3	75.1	467.9
北百合平	去勢	317	7.4	62.6	7.8	2.5	74.4	489.6
	雌	257	7.1	63.0	7.7	2.5	74.6	472.9
百合北	去勢	113	7.3	61.2	7.6	2.3	74.1	498.5
	雌	61	7.6	64.1	7.6	2.7	74.4	475.7
茂北福	去勢	962	7.6	62.5	7.9	2.3	74.7	484.1
	雌	691	7.2	63.2	7.7	2.4	74.9	454.8
福福波	去勢	1,085	8.0	63.1	8.0	2.5	74.6	482.7
	雌	825	7.6	63.0	7.9	2.7	74.7	458.5

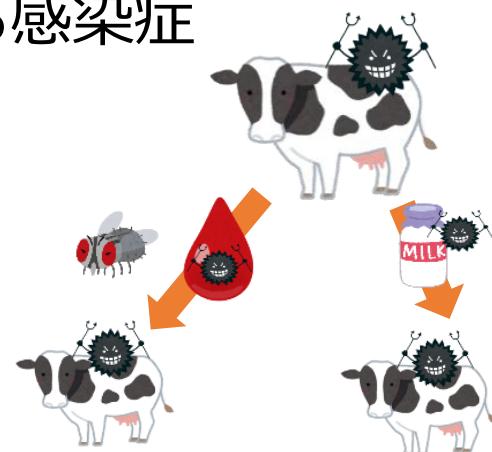
沖縄県有牛における脂肪酸の推定育種価 (MUFA高い順)

順位	種雄牛名	父	母の父	脂肪酸記録数	MUFA σ	オレイン酸 σ
1	照百合守	美津照重	百合茂	28	1.53	2.68
2	美津忠平	美津照重	忠富士	89	1.30	1.84
3	百合安清	百合白清2	安福久	32	1.22	2.03
4	北百合平	北福波	百合茂	87	-0.02	0.36
5	白鶴桜	美国桜	白鵬85の3	30	-0.26	-1.27
6	令鵬	百合白清2	白鵬85の3	24	-0.45	-1.09
7	百合北	百合茂	北福波	40	-0.55	0.08
8	福福波	北福波	福桜(宮崎)	388	-1.55	-0.45
9	美百合	百合白清2	美国桜	121	-1.58	-0.42
10	茂北福	北福波	平茂勝	184	-1.82	-1.09

牛伝染性リンパ腫（牛白血病）について

牛伝染性リンパ腫（EBL）とは・・・

- 牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）による感染症
- 感染牛の血液や乳汁を介して伝播する
- 一度感染すると生涯感染状態が持続し、有効なワクチンや治療法はない



◆牛伝染性リンパ腫の対策

- 牛伝染性リンパ腫の検査を行い感染牛を摘発・淘汰、隔離できれば牛舎を分けることが望ましいが、難しい場合は牛房を2～3つ空ける、間に仕切りを設置する、でも良い
- 吸血昆虫（サシバエ）の防除
殺虫剤（ペルメトリン）や昆虫発育抑制剤（サイクラテ、シロマジン）の散布、防虫ネットの設置、堆肥場への石灰散布によるウジ対策など
- 発症母牛から生まれた子牛には人工初乳を給与し、なるべく早く離す
- 直検手袋や注射針等は一頭ごとに交換 or 消毒
- 導入牛の検査

◆検査費用について

- **抗体検査→1,000円/頭**
※現状把握の全頭検査など検査頭数が多い場合（6ヶ月齢以上の牛が対象）
- **遺伝子検査→2,500円/頭**
※6ヶ月齢未満の子牛や検査頭数が少ない場合
- **血液検査→200円/頭**
※発症が疑わしい場合は症状・BLV遺伝子検査・血液検査（白血球数・リンパ球数・リンパ球の性状）から総合的に診断

まずはご相談ください！

沖縄県オースキー病防疫対策要領が一部改正されました！

また、県外導入豚等防疫指針が新たに制定されました！

R7.7 沖縄県中央家畜保健衛生所

全国的にオースキー病が清浄化が進んでいるため、沖縄県オースキー病防疫対策要領の改正を行いました。また、県外から豚熱等の伝染病の侵入およびまん延防止を図るために、県外導入豚等防疫指針を制定しました。特に以下の点をご確認ください。

令和7年7月1日～ 県外からの豚や豚精液の導入について

- ・導入豚及び精液は、オースキー病(以下、AD)の清浄地域から導入してください。
 - ・豚の所有者は、導入元の農場の伝染性疾病の発生状況及び健康状態を確認して健康な豚を導入してください。
 - ・家畜保健衛生所(以下、家保)に導入2週間前までに導入計画書を提出してください。
- ※精液の導入期間は年度内の最長3ヵ月までとし、導入期間終了後1ヵ月以内に家保へ県外精液導入実績報告書を提出すること。
 - ※導入期間終了後、再度精液を導入する時は家保に導入計画書を提出すること。
 - ※以前まで行っていた導入審査は不要となりました。
- ・導入元農場から過去1年の間に精液の導入がある場合、AD抗体検査陰性証明書の提出が不要となります。
 - ・AD抗体検査は導入2週間後の1回のみになります。(導入3日後のAD検査が無くなります)
 - ・引き続き、豚熱検査と豚熱ワクチン接種は速やかに行います。
※採血は豚熱検査(導入後数日以内)とAD抗体検査(導入2週間後)の2回行います。
 - ・導入豚は導入後3週間の隔離観察を実施してください。
また、導入精液授精豚は人工授精後3週間の経過観察期間を実施してください。

導入に関して不明な点がある場合は管轄の家畜保健衛生所にご相談ください。

